

【草花の部屋】

シロツメグサ (マメ科シャジクソウ属 *Trifolium repens*)

和名 : シロツメグサ (白詰草) **別名** : クローバー

英名 : *Trifolium repens*, White clover

マメ目 多年草 **原産地** : ヨーロッパ **花言葉** : 約束、幸福

花の色 : 白



← 写真-1 シロツメグサ

撮影日 : 2016年04月27日

撮影場所 : 近隣公園(大和郡山市)にて

撮影者 : M さん

春になると、どこでも見られる花。写真は、我が家に隣接する近隣公園で撮影。

花期は春から秋。漢字表記の名称「白詰草」は、1846年にオランダから献上されたガラス製品の包装に緩衝材として詰められていたことに由来するそうです。日本では、明治時代以降、家畜の飼料用として導入されたものが、野生化した帰化植物で根粒菌の作用で窒素を固定することから、地球を豊かにする植物として緑化資材にも用いられています。

茎は地上を這い、葉は3小葉からなる複葉ですが、時に4小葉やそれ以上のものもあり、特に4小葉のものは「四つ葉のクローバー」として喜ばれています。花は葉の柄よりやや長い花茎の先につきます。色は白(写真の個体のように、ほんの少しピンクのものもあります)。雑草防止、土壌浸食防止等に利用されることもあります。

四つ葉のクローバーは小葉を4枚持つ白詰草で、普段見られる三つ葉の変異体です。その発生は稀で、それを見付けられた者には幸運が訪れるという伝説があります。その伝説によれば、四つ葉のクローバーの小葉は、それぞれ、希望・誠実・愛情・幸運を象徴しているそうです。

四つ葉のクローバーの発生頻度は三つ葉のそれに対して1万分の1程度になると推定されているようで、その他にも、五つ葉・六つ葉・七つ葉・八つ葉なども発見数は少ないながらも確認されているそうです。なお、ギネス世界記録認定の最多記録としては56葉が認定されているそうです。